

Q&A 消防団に関する素朴な疑問にお答えします！

Q 女性にもできる活動もあるの？

現在、約23,000人の女性消防団員が全国で活躍しています。女性の持つソフトな面を活かして、特に住宅用火災警報器の普及促進、一人暮らしの高齢者宅の防火訪問、住民に対する防災教育及び応急手当の普及指導等においては、女性消防団員が活躍しています。また、消火活動や後方支援、操法訓練にも参加しています。



Q 学生でも入団できますか？

市町村の条例に定める年齢に応じて入団できます。多くの市町村が18歳以上を要件としており、実際に大学生の消防団員も活発に活動しています。現在、学生の消防団員数は全国で約3,000人。学生等、若い力の消防団活動への参加が求められています。

Q 消防団と消防署ってどう違うの？

消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火・救助活動を行います。消防団員の身分は、非常勤特別職の地方公務員です。

消防署など

約16万人

常勤の
地方公務員

常勤の職員が、
消防業務に従事している

連携

消防団

約86万人

非常勤特別職の
地方公務員

それぞれの仕事を
もちながら、災害等の際に
その対応に当たる

ご存じですか？ 消防団にはさまざまな制度があるんです。

消防団協力事業所表示制度

事業所が消防団に協力することは、地域への多大な社会貢献となります。本制度は、消防団の活動に積極的に協力している事業所を「消防団協力事業所」として認定するものです。これらの事業所が増えることにより、地域防災体制の一層の充実が期待できます。



「消防団協力事業所表示制度」
表示マーク

機能別消防団員・分団制度

より多くの方に参加いただくために、消防団には、機能別消防団員・分団という制度があります。それぞれの能力やメリットを活かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲での活動ができます。

機能別団員 ●火災予防・広報団員 ●OB団員

機能別分団 ●大規模災害のみ活動する分団
●バイク隊 ●音楽隊

上記内容および消防団員募集の手続き等については、各市町村ごとに定められていますので、居住地(あるいは勤務地)の市役所・町村役場、または最寄りの消防署にお問い合わせください。

お問い合わせ先



街の自分の さあ、



あなたにも
できることがあります。

消防団員 募集

守りたい未来、
つながる未来がある。

〈鹿児島県薩摩川内市消防団〉時吉 正人さん

女性として働きながら、地域のために活動できることがたくさんあるんです!!

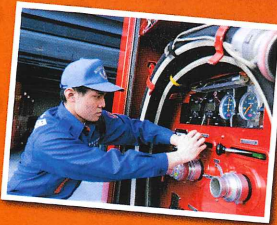
病院で事務の仕事をしていた関係で、もともと消防団の活動には興味がありました。決め手になったのは知人の紹介でした。尾鷲市には、女性だけで活動する「女性分団」があります。応急手当講習で地域の小学校へ行ったり、「火の用心」で地域を巡回する活動も行っています。勉強になることも多く、楽しく活動には参加しています。

会社員 永阪 なぎささん (三重県尾鷲市消防団)

地域の方とのコミュニケーションの輪が、一気に広がりました!

入団のきっかけは、学校からの「学生消防団」の案内でした。東日本大震災を機に消防団の活動は気になっており、今の自分でもできることがあればと思い入団しました。学校では体験できない訓練活動、接する機会がなかった地域の方々のコミュニケーション等、どれも新鮮な体験でした。今後はもっと地域の方とも交流を深めながら、地域防災に貢献していきたいです。

学生 高橋 駿さん (新潟県新潟市消防団)



会社員

主婦

学生

会社員

夫が消防団員ということもあり、自然と入団していました。

私が住んでいる地域で大きな火災は少なく、予防啓発活動に力を入れています。活動時間も大体数時間程度で短めですので生活の中で大きな負担を感じることもありません。消防団メンバーの中で、適材適所・役割分担もされているので、できる範囲の活動で地域に貢献できているかなと感じています。

主婦 時吉 妙子さん (鹿児島県薩摩川内市消防団)

やりがいのある活動に多くの仲間。もっと早く入団すれば良かったです!

はじめは「子供が小さいうちは…」と、少し心配なところもありましたが、家族の理解と、地域の活動へ積極的な上司からの後押しもあり入団を決めました。仕事との両立も大きな負担にはならず、多くの仲間と救助や消火活動に関わる多くのことを学べ、入団して良かったという思いが今は強いです。

会社員 松田 裕之さん (神奈川県川崎市消防団)



あなたにもできること、きっとあるはずです。

地域に根ざす消防団。その活動をご紹介します。



平常時の活動



地域を災害から守るためには、住民の防災意識の向上が不可欠です。このため、火災予防や防災啓発などを積極的に行っています。

住民がいざというときに、疾患やケガに素早く対応できるよう、AEDの使い方ははじめとした応急手当の普及・啓発を実施しています。



各家庭に訪問し、防火啓発を行っています。災害時に支援が必要な方の把握に努めています。



防火啓発活動

消火活動

救命講習会

消防団

救助活動

住宅防火訪問

水防活動

災害時の活動

火災が起こった際は、自宅や職場から現場へ駆けつけて消火活動を行います。消防隊員よりも先に現場に到着することもあるため、初期消火や消防隊員の後方支援などをその場に応じて展開します。



地震や風災害などといった自然災害が発生した場合は、地形や道路網、世帯状況などを熟知した消防団員が、的確かつ迅速に救助・救出を行います。



台風や集中豪雨などにより、河川の氾濫や堤防の決壊が起きないように、土のう積みなどの防災活動を迅速に行い、地域の被害軽減に努めます。

消防団入団までの流れ

消防団に入団するには、まずはお問い合わせください。

STEP 01 問い合わせる

居住地(あるいは勤務地)の市役所、消防署までお問い合わせください。

STEP 02 入団手続き

自治体で定める年齢に応じて、入団することができます。(地域により、居住要件等がある場合もあります。)

STEP 03 あなたも消防団員に!

入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

消防団に関する詳しい情報は…

消防団 検索



<http://www.fdma.go.jp/syobodan/>